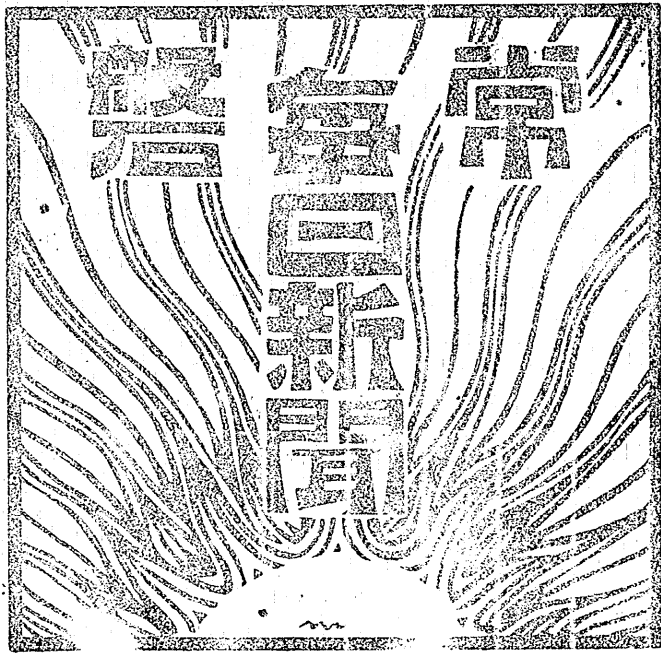


日刊 發行部編輯人 川島文台 本社下向通地（電話六三〇番）



刊夕日一月五

定價 一月五圓 三月十二圓 半年二十二圓 一年四十圓
廣告 第一版每行一圓 第二三版每行五角
印刷 每日出版 星期日休刊
電話 六三〇番

合着もの
種々取揃へました
大勉強いたしました
小供洋服は壹圓五十錢より
其他特別格安もの多數是非
御出下さい

十字服屋洋店
平停車場前通り

大特價
通學用ゴムマント

男子用.....1.50ヨリ
女子用.....1.60ヨリ

なかや洋服店

貸家案内

字白銀町商人向 拾八、〇〇〇
同 事務向 四〇、〇〇〇
同 勤人向 八〇、〇〇〇
同 仲問町同 四、〇〇〇
同 商店向 八、〇〇〇
同 勤人向 八、〇〇〇
同 柳町同 五、〇〇〇
同 同 六、〇〇〇
同 同 五、〇〇〇
同 同 七、〇〇〇
同 同 八、〇〇〇
同 同 八、〇〇〇
同 同 八、〇〇〇
同 同 八、〇〇〇

加藤營業所
白銀（電話三二〇番）
平町紺屋町（縣社通り）

理化学研究所製
吸入用酸素
酸素吸入器

優良なる理研の酸素の御用意を
縣平町

特約店 關内藥舖
藥劑師 關内榮助
（電話四〇番）

神經痛 リウマチス
に悩まる、方の爲に
自宅療法發見

自用口イマチ錠 定價（金五十錢）
賣藥壹圓以上買上の方に有聲座・平館無料
入場券早上

三割引仕候
平町田町
特約店 **宇佐美藥局**
藥劑士 宇佐美友二郎

常盤第一ノ磐城炭礦ノ石炭

石炭 一、目方ノ正確
ツ **ココクス** 二、品質ノ優良
三、配達ノ迅速
ドーシテアンナ良イ品ヲソソナニ安ク賣レルカト驚カ
レニ度使ヘバ永久ニ使ヘ下サルノガ當店石炭ト「コー
クス」特長

石炭は正十貫目 一俵金六十五錢也

平 驛 前

阿部石炭商店
（電話二三七番）

高久病院

院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄

平町田町 電話五二三番

內科 小兒科 花柳科
（需應院入）

平町紺屋町
藤沼醫院
電話 四五〇七番

診療開始

外科 專門
花柳病 專門

木村外科醫院
平町五丁目橋際
入院自炊の便あり

金印半天專門
優秀品の証明
草野染工場
電話 二四八番
磐城 平町

◎徒弟入用
徒弟契約ニ付テハ年明キニ
際シ有利ニ御相談申上候

磐城セメント會社特約店

久金屋商店

磐城平町五丁目 電話九番 一三九番

▽良品廉賣ヲ勝る商畧なし△
▽確實敏捷は釜屋の生命なり△

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院
平南町（電話一七〇番）

支那に於ける不平等
條約廢止運動の概要
陸軍歩兵大尉 萩原 英

五、駐支外國軍隊警察郵便電信局撤退問題
(イ)第五次極東委員會に支那委員は駐支外國軍隊及警察に關する件を對論し先づ北京外交團及支那委員三名を以て一特別委員會を組織し現況を調査せん事を決議す、其要旨左の如し

一、駐支軍隊中條約に據らざるものは支那と合議を経ざるものは支那が外人の生命財産を保護するの保證を得て俟ちて撤退す

二、支那は前項に掲ぐる

保護を爲すの意志及其能力あることを聲明すべし
三、各國及支那の聲明は實際の狀況に依りて判斷し各種實情を明確ならしむる爲め左の決議をなす
A 支那政府の選定せる委員三名及び日、英、米、佛、伊比、荷、葡の八ヶ國の駐支外交官は支那政府の請求に應じ協力して駐兵を繼續するの必要の有無を調査す

B 各國政府は上述の調査事實に對し承認を與ふることを承認する代償として政治上又は經濟上の特殊

利權を攫得すべからず

(ロ)郵便電信局の撤退 支那代表の提出せる外國郵便局撤退の要求は二月一日の第五次會を通過す其要旨左の通りである

一、支那に郵便局を有する四國は左の條件の下に其撤退に同意す
A 支那は確實に郵便事務を保持す
B 支那政府は外國人郵政員の地位を變更せず且つ現存郵便局の行政を變改せざる事を聲明すべし
二、支那及關係各國は必要の設備を行はしむるため本協約實施期は一九二三年一月一日とす

(ツ) 〳

濱通り銀行の 合同はとうなるか

うまくゆけば年内に
各行機運促進を申合す

濱通りにおける銀行合同が
當局の斡旋と當業者の自覺
で漸く好機運を見せ去る十
九日平町警銀樓上に開いた
各行主腦の
懇談が かなりの進
歩をもたらした四月にある
程度は具體化を見られさう
な模様であつたことは既報
したが其後合同される數行
中には好ましからぬ内状を
有するものあるを以てある
時期迄これを分離合同して
はとの意をもちらせるもの
あるに對し此際

一切の 合同ならざ
ればと唱ふる兩主張から此
の折衷案とも見らるべき即
ち合同の方針を以て各行共
に整理を進め遅くも本年
に所期の實現を遂げよう
することにまつたらしく而
して此間にも合同の時期を
早むるため絶えず協議打合
せを行ふ筈で来る十五日重
ねて

各行に 於ける責任
ある代表者の懇談會を開催
するが相互に於ける内容調
査は比較的取引の廣い古い
銀行ほど困難らしく従つて
比准の如きも容易でなく且
つ又幹部級の進退關係もあ
るので現在の模様では寧ろ
早くて本年中に合同が出来
ればよいとみられてゐる

制限嚴重な爲め
示威運動を斷念

今日のメーデーは
ピラ撒きと講演會だけ

舊勞農黨系の警城一般勞働
者組合では五月一日メーデー
に日勞黨系の日本礦夫組
合各支部と合同してデモン
ストレーションを行ふべく
計畫を進めてゐた所その筋
の制限嚴重なため今回はこ
れを見合せるとなつたが
當日は山代吉宗、廣瀬貞兩
氏司會の下に常警各炭坑に
スローガンを印刷したピラ
を散布し常警各無産團體主

衆議院の形勢は依然として政府に不利、内相彈劾案否決の見込みなき爲め一日午後一時廿五分再び三日間の
停會を命ぜられた(東京電話)

再び議會停會
身體にひどい異状のない限
り誰でも注射を受けて差支
へがない。注射の後で熱が
少し出るが軽い風邪位で注
射した所が少し痛むけれど
も仕事を休むほどのことは
ない。注射は二度でも三度
でも回数が多い程よい。豫
防注射をすました後に血清
を取つて検べて見ると丁度
チフスに罹つて治つた人と
同じ性質を持つてゐることが
分る。即ちチフスに對して
免疫が出来たのである。日
本の現状では毎年一度づつ
豫防注射を受けるが安全で
ある。豫防注射の効能は世
界中の陸海軍その他各地で
充分證明せられてゐる。

整備斷行か
前觸れの小異動

常警に於ける石炭王國警城
炭礦は事業が大きいだけに
打撃く不景氣の打撃が一層

磐炭が近く
整理斷行か

常警に於ける石炭王國警城
炭礦は事業が大きいだけに
打撃く不景氣の打撃が一層

以上述べた通りチフスの豫
防は國民の自覺と努力とに
よる外はない。若しチフス
が豫防し得れば赤痢、コレ
ラ其の他の消化器傳染病も
略々同様に豫防することが
出来て國民保健上の利益は
誠に莫大なるものである。
(をばり)

米價が低落の歩調
前年より駄當り七圓安

石城郡地方昨今の米價は警
城四等米二十三圓で前年度
同期の三十圓八十錢に比較
すれば駄當り七圓の開きを
見せこの
低落歩調 は當分先
高の見込なく下押に進むも
のと觀測され地方米穀商人
も思案投げ首の態であるな
は穀檢平支所では来る五月
一日における在米調査をな
すべく目下調査中だが本年
より多い
昨年度の 七萬四千
八百十石にくらべて今年度
は米價安で農家米穀商方面
の賣り滞りに原因されて居
る

川前の
岩つゞじ 咲く
濃淡よりごりに
石地郡川前村警城東線川前
驛附近は岩躑躅は既に咲き
初め十日頃には満開を見せ
るらしく濃淡とりくの色
彩が夏井川の清流と共に人
目を引き人出が多からうと
目



醬油の良否
醬油の良否の鑑別が容易に
出来る方法を申し上げます
良否の見分方は矢張り味と

車體検査
石城自動車検査終了
去月二十五日から平町にお
いて行つた平植田四倉各署
管内自動車々體検査は二十
八日終了したがその結果は

入山立國
本多氏の講演
石城郡湯本町入山炭礦從業
員から組織されてゐる入山
立國勞働自力會では二十九
日第一長節の佳辰を卜し
午後二時から同町三國座に
於て春季總會を開き各種事
項について協議し終つてい
はらき新聞社長本多文雄氏
の講演があつたが夜は勞働
者の家族慰安活動寫真會を
催した

平町人事
出生
△久保町三八 會川延太郎氏三女ハ
ル子
△三丁目五七 笹目八郎氏二男浩
△結婚
△五丁目一三 篠原新吾(三四)東京
市芝區田町立川(二四)

流行し
ハイカラ過ぎるので今年
は黒が大部分を占め若向き
として紺茶鼠などが迎へら
れます、編み方は荒いもの
全盛で所謂鬼あみとか變り
編とか云ふのがいろいろと
面白い變化を示してゐます
それから近頃では

仕事で
疲れた頭に
堅い麥葉帽のコチ／＼した
のを冠ることは腦の爲に悪
く而も朝夕の省線や市電の
混雑の中で堅い夏帽のツバ
が衝突をするの如何にも不
愉快なものであるとの考へ
からその堅さを除いたもの
が喜ばれるやうになりました
たので支那麥或はタスカン
などで糊をきかせないしな
やかなものが流行界の

一角を
占めはじめ
ました。これは山の高さが
四時ツバを二時から二時四
分の三までにしまして一寸
バナマ帽に形を似せて前の
方を下した形にして冠れるも
のであります。値段は支那
麥で一圓七八十錢から五圓
位まであります

子帽ラフ麥
がのい軟がばつ
向傾新るれば喜
うめると、も
うやく都塵
にまちり初
う麥稈の夏
帽子で輕やかにステッキを
振りながら銀プラに出掛け

痛烈の觀があるか廿八日
突如役員勤務の大異動を
行ひ従來獨立してゐた高坂
坑下の金坂にある勞務課を
同礦病院高坂分院の擴張を
名となし町田坑派出所に併
せ課長濱崎法學士の次席簡
井三郎氏を運輸課主任に高
坂派出所主任法學士小島良
利氏を學務課勤務に移し同
課關係數名を動かしたる外
工作課長工學士江戶東一氏
に三千三百圓の手當を以て
依願退職を見たるなど異動
の大ふえつを下す前提でな
いかと各役員は戦々惴々ど
してゐる